

[成果情報名]キンギョソウの摘心栽培における有望品種

[要約]摘心栽培におけるキンギョソウの新品種では、‘トランペットタンジェリン’、‘オーバーチュア イエロー’が有望である。

[キーワード]キンギョソウ、新品種

[担当]静岡農林研・伊豆農業研究センター

[連絡先]電話 0557-95-2341、電子メール agriminamiizu@pref.shizuoka.lg.jp

[区分]関東東海北陸農業・花き

[分類]技術・普及

-----  
[背景・ねらい]

本県キンギョソウの慣行作型である摘心栽培に適すると思われる品種を試作し、採花本数や切花品質等から有望品種を選定して、産地に導入する際の基礎資料とする。

[成果の内容・特徴]

- 1 ‘トランペットタンジェリン’はペンステモン咲きの橙花で、10月下旬から開花し、栽培期間を通じての採花本数が多い。
- 2 ‘オーバーチュア イエロー’は普通咲きの黄花で、10月下旬から開花し、採花本数が多い。

[成果の活用面・留意点]

- 1 国内・海外育成の9品種を、対照品種の‘メリーランドピンク’、‘ライトピンクバタフライ’、‘ポトマックホワイト’と比較した。
- 2 本試験は、慣行作型を想定して冬期夜温 11℃ 設定で行ったため、これと異なる夜温設定では、特性の一部が異なる可能性がある。

[具体的データ]

表1 キンギョソウ品種比較試験における供試品種の開花時期ならびに採花本数<sup>1)</sup>

品種名 <sup>2)</sup>	育成地	花型 <sup>3)</sup>	花色 <sup>4)</sup>	開花			採花本数(本/株)					切花品質(%) <sup>5)</sup>					切花長(%)				総合 <sup>6)</sup> 評価
				開始	開始 ~12月	1~ 3月	合計	上物	花飛 び	軟弱	曲が り	石化	40cm未 満	40~59	60~79	80~99	100cm 以上				
トランベットローズフロスト	海外	ベ	白・桃	10月下	2.4	2.6	5.0	98	-	-	2	-	-	-	19	30	51				
トランベットタンジェリン	海外	ベ	橙	10月下	3.2	2.8	6.0	98	-	-	2	-	-	-	7	41	52				
オーパチュア イエロー	海外	普	黄	10月下	3.8	2.3	6.1	98	2	-	0	-	-	-	23	29	48				
コネクションシルバー	海外	普	淡桃	10月下	2.6	3.2	5.8	98	1	-	1	-	-	-	2	31	67				
コネクションアブリコット	海外	普	黄・橙	10月下	3.1	1.8	4.9	97	3	-	0	-	-	3	14	53	30				
K7-172	国内	ベ	白	10月下	3.5	2.7	6.2	95	1	1	3	-	-	-	32	22	46				
K7-162	国内	ベ	黄	10月下	2.9	1.4	4.3	96	3	-	1	-	-	-	4	44	52				
K7-146	国内	ベ	淡桃	10月下	3.4	2.2	5.6	95	2	-	3	-	-	1	40	23	37				
K3-79R	国内	ベ	桃	10月下	3.7	3.0	6.7	94	3	-	3	-	-	-	36	18	46				
カリヨンホワイト改良(TK-692)	国内	ベ	白	10月下	3.7	2.4	6.1	88	12	-	-	-	-	5	42	17	36	参考			
カリヨンイエロー改良(TK-519)	国内	ベ	黄	10月下	3.0	2.5	5.5	97	2	-	1	-	-	-	6	44	50	参考			
カリヨンピンクインブ	国内	ベ	桃	10月下	4.2	3.2	7.4	89	8	2	1	-	-	2	36	17	45	参考			
ボトマックホワイト	海外	普	桃	10月下	3.7	2.0	5.7	98	1	1	-	-	-	-	10	48	42	-			
ライトピンクバタフライ	海外	ベ	淡桃	10月下	3.7	2.2	5.9	91	6	1	2	-	1	1	54	16	28	-			
メリーランドピンク	海外	普	白	11月上	2.4	1.3	3.7	95	3	0	2	-	-	-	-	37	63	-			

1) 栽培概要, は種: 7月31日, 定植9月1日, 摘心9月8日

2) 対照品種( 'メリーランドピンク', 'ライトピンクバタフライ', 'ボトマックホワイト') は網掛けした。

3) 普: 普通咲き, ベ: ベンステモン(ベル)咲き

4) 白・桃、黄・橙はそれぞれ複色咲き

5) 上物: 出荷規格を満たす、花飛び: 花穂での小花の花飛び、軟弱: 茎が細く販売不可、曲がり: 茎の曲がり

6) 採花本数・切花品質等から総合的に評価( : 有望、 : やや有望)

[その他]

研究課題名: 伊豆自生有用植物および新花き類の利用法開発

予算区分: 県単

研究期間: 2008年度

研究担当者: 稲葉善太郎、石井香奈子、石井ちか子